

大田区基本構想（素案）について



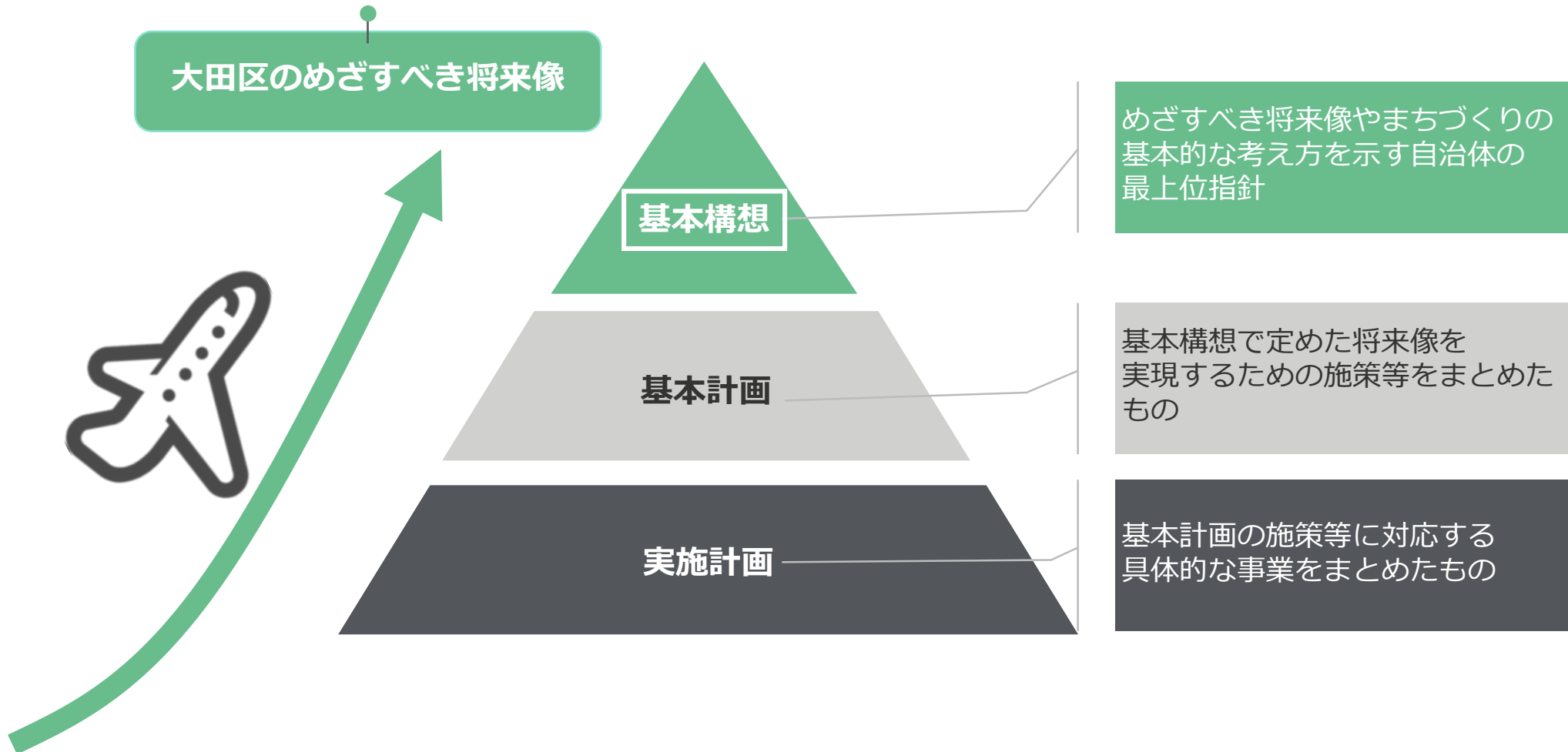
令和5年12月27日（水）
令和6年1月6日（土）
区民説明会資料

内容	実施者										
<p style="text-align: center;">事務局からの説明</p> <table border="0"><tr><td>1. 基本構想とは</td><td>P 3</td></tr><tr><td>2. 基本構想策定の背景</td><td>P 6</td></tr><tr><td>3. 基本構想の策定過程</td><td>P10</td></tr><tr><td>4. 大田区基本構想（素案）</td><td>P18</td></tr><tr><td>5. 区民意見公募手続(パブリックコメント)の実施</td><td>P29</td></tr></table>	1. 基本構想とは	P 3	2. 基本構想策定の背景	P 6	3. 基本構想の策定過程	P10	4. 大田区基本構想（素案）	P18	5. 区民意見公募手続(パブリックコメント)の実施	P29	大田区
1. 基本構想とは	P 3										
2. 基本構想策定の背景	P 6										
3. 基本構想の策定過程	P10										
4. 大田区基本構想（素案）	P18										
5. 区民意見公募手続(パブリックコメント)の実施	P29										
質疑応答	区民の皆様 大田区										

1. 基本構想とは

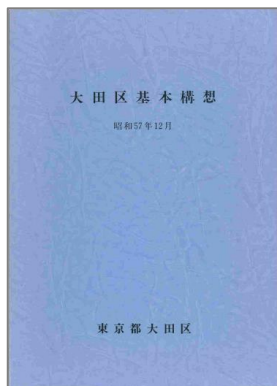
1. 基本構想とは

- 2040年ごろ（令和22年ごろ）の大田区のめざすべき将来像を提示し、今後のまちづくりの方向性を明らかにした、区の最上位の指針
- 大田区に関わるすべての人々の共通の目標



1. これまでの大田区基本構想

- 昭和57年に初めて基本構想を策定し、現在の基本構想は平成20年に策定



昭和57年12月策定



平成20年10月策定

策定時期

将来像

安全で快適な、活力と思いやりのある、
文化・福祉都市

地域力が区民の暮らしを支え、
未来へ躍動する国際都市 おおた

基本目標等

【都市像】

- 安全で快適な住みよいまち
- 活力と思いやりのあるまち
- 文化をはぐくむまち

【区民像】

- 自主性と連帯性のある区民
- 文化を創造し、継承する区民

【基本目標】

- 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
- まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市
- 地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち

2. 基本構想策定の背景

2. 基本構想策定の背景

- 現在の大田区基本構想は策定から約15年経過し、その間に社会情勢や区民の生活様式は大きく変化
- 区をめざす将来像を再検討すべき時期を迎えている

現在の大田区基本構想の策定から約15年経過



この間、社会情勢や区民の生活様式は大きく変化

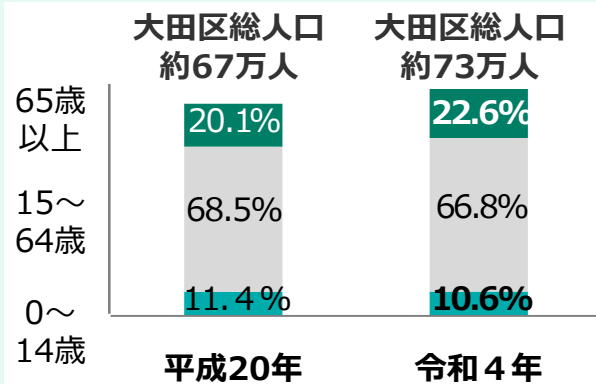


区をめざす将来像を再検討すべき時期を迎えている

2. 基本構想策定の背景（15年間の大きな変化の例）

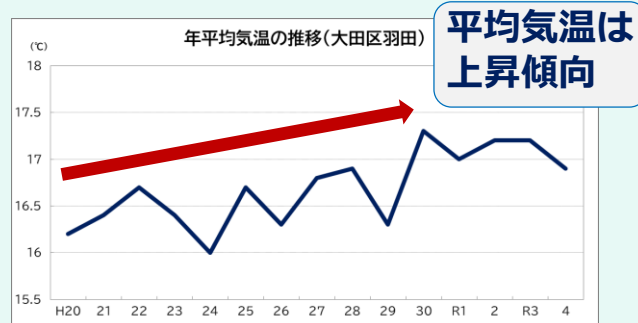
- 現在の基本構想策定からの15年間で、大田区においても少子高齢化が進行
- 地球温暖化などに伴う気候変動による平均気温の上昇、豪雨の発生件数の増加
- 新型コロナウイルス感染症の流行により、人々の生活様式や働き方が変化した一方、オンライン会議やキャッシュレス決済が浸透するなど、デジタル技術の活用が進んだ

少子高齢化



- 65歳以上の人口割合が、20.1%から**22.6%**に増加
- 15歳未満の人口割合が、11.4%から**10.6%**に減少

気候変動



- 平均気温が16.2℃から**16.9℃**に上昇
- 豪雨の発生件数の増加

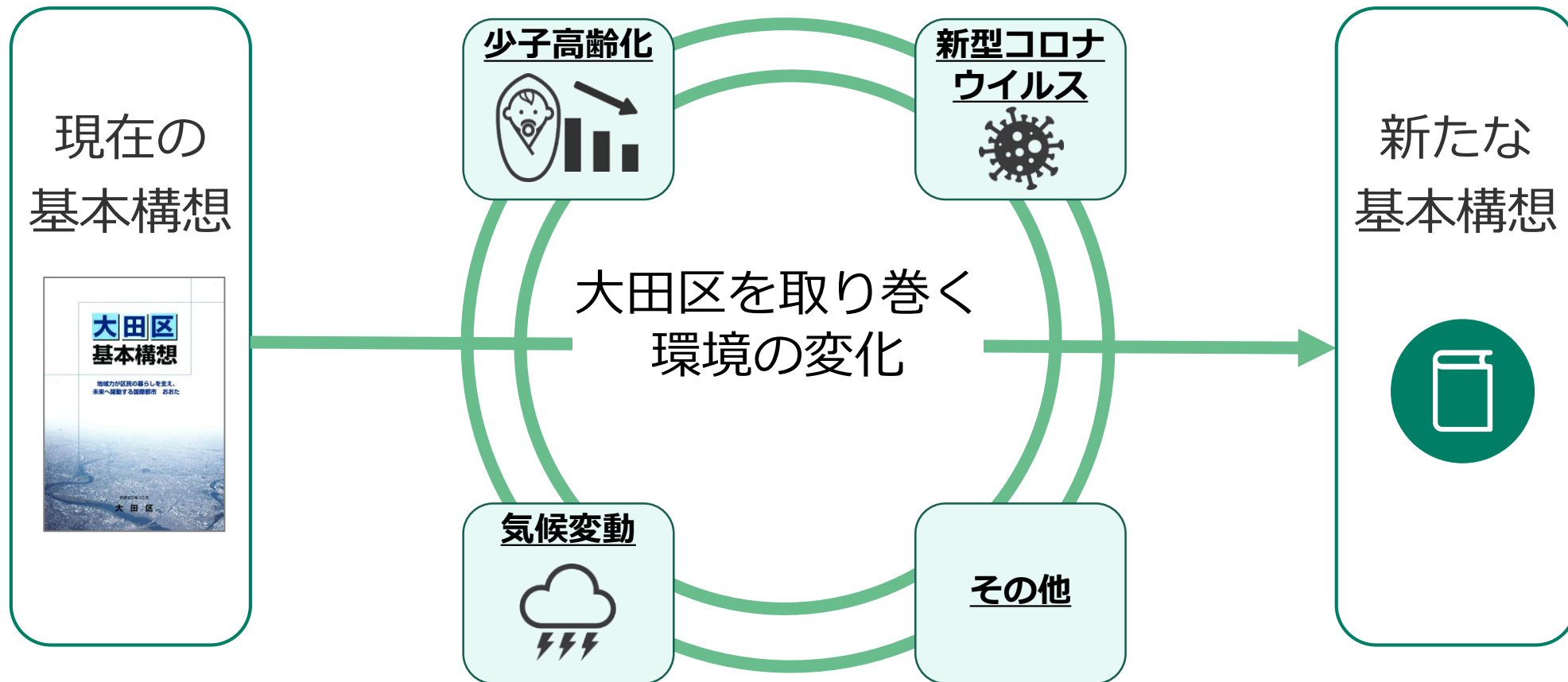
新型コロナウイルス感染症



- 人々の生活様式や働き方が変化
- 対面での接触を避けるため、オンライン会議やキャッシュレス決済が浸透

2. 基本構想策定の背景

- こうした15年間の変化を踏まえ、新たな基本構想の策定に着手



3. 基本構想の策定過程

3. 基本構想の策定過程

○大田区基本構想審議会

- 計25名の委員で構成
- 審議会と3つの専門部会（「子ども・福祉」、「まちづくり・防災」、「産業・環境」）において、計11回の会議を開催

○区民の皆様からの意見募集

アンケート	Web・紙による アンケート	○実施期間：7月14日から9月11日まで ○対象者：区内在住・在勤・在学の方 ○回答数：合計 17,406件 内訳：こども（中学生以下） 11,920件 大人（高校生を含む） 5,486件
ワークショップ	区民 ワークショップ	○実施日：8月17日（木）、9月9日（土） ○対象者：区内在住の高校生以上の方 ○参加者：計90名

3. 基本構想の策定過程（審議会・専門部会）

- 学識経験者・有識者8名、団体代表者5名、公募区民3名、区議会議員9名の計25名で構成し、基本構想のあるべき姿やその方向性について審議
- 審議会と3つの専門部会（「子ども・福祉」、「まちづくり・防災」、「産業・環境」）において、計11回の会議を開催

開催日程

日程	会議
7/25	第1回審議会
7/31	第1回専門部会（産業・環境）
8/3	第1回専門部会（子ども・福祉）
8/10	第1回専門部会（まちづくり・防災）
8/22	第2回専門部会（まちづくり・防災）
8/30	第2回専門部会（産業・環境）
8/31	第2回専門部会（子ども・福祉）
10/8	第2回審議会
11/2	第3回審議会
11/24	第4回審議会
12/19	第5回審議会

審議会及び専門部会の様子



3. 基本構想の策定過程（アンケート概要）

- 基本構想の策定に向けて、Webと紙面形式でのアンケートを実施
- 合計で**17,406件**のご回答をいただき、基本構想の策定に活用

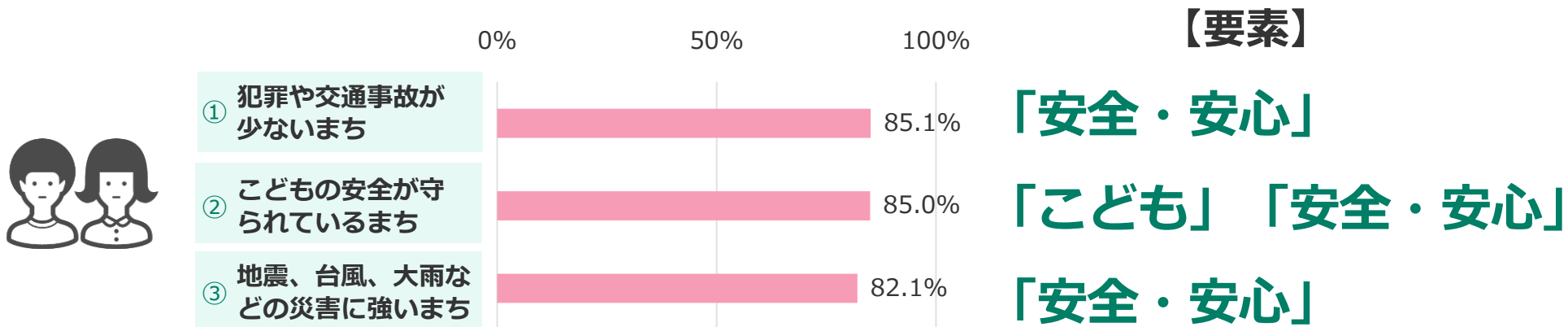
項目	内容
調査目的	大田区のめざすべき将来像等を示す「大田区基本構想」の策定に向けて、広くあらゆる世代の区民の皆様のご意見を伺う
アンケート概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 30個のまちの姿について、「今の大田区」にどの程度あてはまるかを選択 ● 同じ30個のまちの姿について、2040年ごろにこんなまちにしたいと思うまちの姿にあてはまるものを選択 ● まちの将来像に関する意見を自由に記述
対象者	区内在住・在勤・在学の方
配布・回収方法	インターネット・FAX・郵送
期間	7月14日から9月11日まで
回答数	こども（中学生以下）：11,920件 大人（高校生を含む）：5,486件 合計：17,406件

紙面アンケート

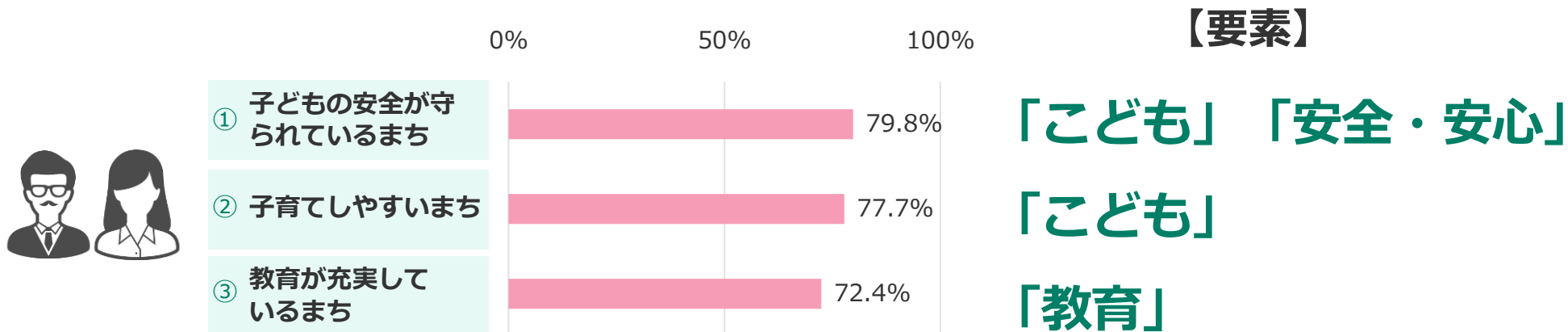
紙面アンケートのイメージ。アンケートのタイトル「新たな大田区基本構想の策定に向けたアンケートにご協力ください」、質問内容、回答欄、および回答数などの情報が記載されている。

3. 基本構想の策定過程（アンケート結果）

こども（中学生以下）が望む2040年ごろの大田区のまちの姿（上位3項目）



大人（高校生を含む）が望む2040年ごろの大田区のまちの姿（上位3項目）



3. 基本構想の策定過程（アンケート結果）



自由記述意見（こども（中学生以下））

<3,455人の自由記述で作成したワードクラウド>

<年代別の自由記述頻出語>



頻出割合	小5	小6	中1	中2	中3
高	公園	公園	公園	公園	公園
	自然	子ども	ゴミ	子ども	子ども
	やさしい	やさしい	子ども	自然	きれい
	子ども	緑	ボール	ボール	学校
	犯罪	ボール	自然	環境	治安
	楽しい	自然	きれい	治安	安全
	緑	環境	やさしい	安全	ボール
	高齢者	安全	場所	やさしい	浦田
	きれい	場所	犯罪	学校	教育
	ボール	犯罪	緑	教育	高齢者

※ワードクラウド：
テキストデータの中の単語を出現頻度に合わせて
大小をつけて視覚化する手法

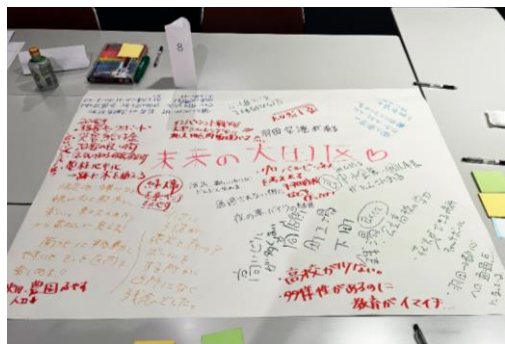
※一部の固有名詞および動詞等を除いて作成

3. 基本構想の策定過程（区民ワークショップ）

- ワークショップでは、大田区らしさや2040年ごろの大田区はどんなまちになってほしいか等について、他の参加者と交流・意見交換を実施

項目	内容
開催日時	● 第1回：令和5年8月17日（木） 18時～20時 ● 第2回：令和5年9月9日（土） 10時～12時
募集方法	無作為抽出された区民4,000人に案内状を送付し、希望者を募集
参加者数	● 第1回：53名 ● 第2回：37名
内容	● 大田区の「良いところ」や他のまちに無い「大田区らしさ」を踏まえながら、「2040年ごろの大田区はどんなまちになってほしいか」について話し合う ● 話し合った内容を模造紙や付箋に記載し、意見を全体で共有する

意見が書き出された模造紙・付箋



ワークショップ当日の様子



4. 大田区基本構想（素案）

4. 大田区基本構想（素案）の構成

○新たな基本構想の構成

章	項目	概要
序章	基本構想策定の背景と役割	新たな基本構想を策定することになった背景と、基本構想が果たす役割を示す
第1章	基本理念 (基本構想全体を貫く考え方)	基本構想全体を貫く考え方である3つの基本理念を示す
第2章	将来像	2040年ごろ（令和22年ごろ）の大田区のあるべき姿である将来像を示す
第3章	基本目標 (将来像を実現するためのまちの姿)	前段で示した将来像を実現するための4つのまちの姿を示す
第4章	基本構想を実現するために	基本構想を着実に実現するための5つの区の方針を示す

策定の背景

素案
P 1

- 大田区の特徴
- 少子高齢化の進行
- 地球温暖化などに伴う気候変動
- 新型コロナウイルス感染症の流行による生活様式や働き方の変化
- まちづくりの取組

基本構想の役割

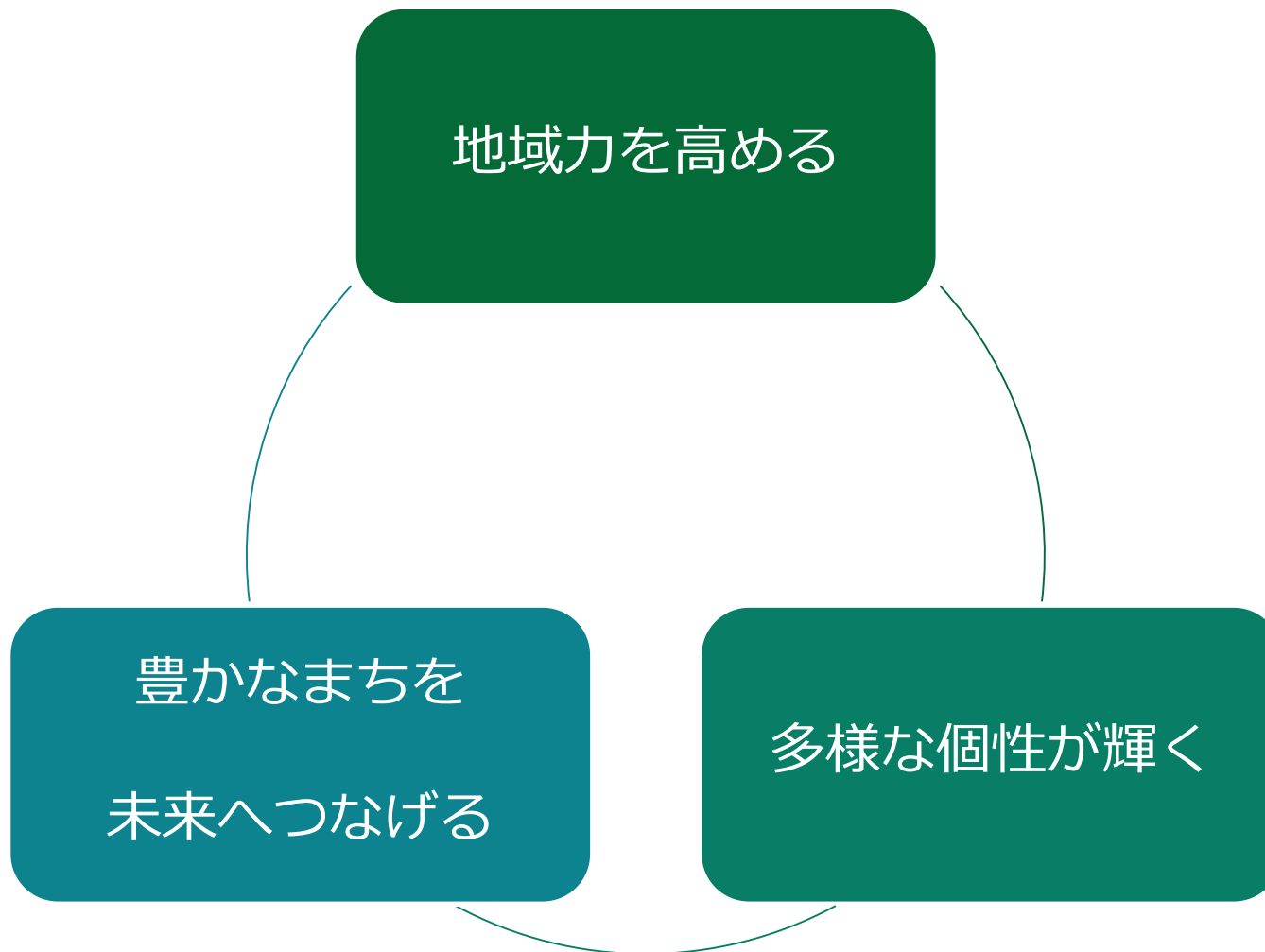
素案
P 3

- 2040年ごろ（令和22年ごろ）の大田区のめざすべき将来像を提示し、今後のまちづくりの方向性を明らかにした、**区的最上位の指針**
- 大田区に関わるすべての人々の共通の目標

基本理念（基本構想全体を貫く考え方）

素案

P 4



2040年ごろ（令和22年ごろ）の大田区のあるべき姿

心やすらぎ 未来へはばたく 笑顔のまち 大田区

これまで築いてきた地域のつながりを大切にし、暮らす人・働く人・学ぶ人・訪れる人の誰もが、安心して心穏やかな日々を送ることができるまちをつくります。

また、こどもから大人まで、誰もが夢や希望をもち、未来を切り拓くことができる活力あるまちをつくります。

日々のやすらぎと未来への希望により、笑顔があふれるまちの実現をめざし、「心やすらぎ 未来へはばたく 笑顔のまち 大田区」を将来像として掲げます。

基本目標（将来像を実現するためのまちの姿）

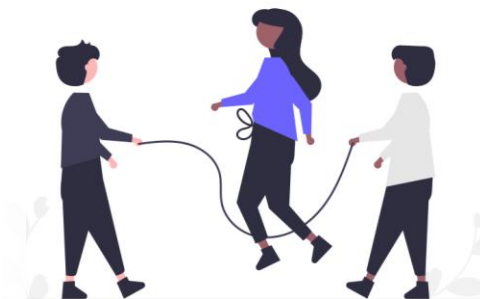
基本目標	
①	未来を創り出すこどもたちが夢と希望をもって健やかに育つまち
②	文化を伝え育み誰もが笑顔でいきいき暮らすまち
③	豊かな環境と産業の活力で持続的に発展するまち
④	安全・安心で活気とやすらぎのある快適なまち

基本目標①

素案
P 6

未来を創り出す子どもたちが夢と希望をもって健やかに育つまち

- こどもの権利が守られ、子どもたちが将来に希望をもって育っています。
- 子どもたちが安全・安心で自分らしく過ごせる居場所や楽しくのびのびと遊ぶ場所が充実しています。
- 子どもたちをあたたかいまなざしで包み、こどもの声に耳を傾けながら、地域全体で子育て・子育てを支えています。
- 希望する誰もが、安心してこどもを産み、育てることができ、子どもたちが愛情を注がれて健やかに成長しています。
- 世界の人々と積極的に関わりながら、よりよい未来を創り出す人材が育っています。
- 一人ひとりに寄り添う学びにより、すべてのこどもが自分らしく輝いています。

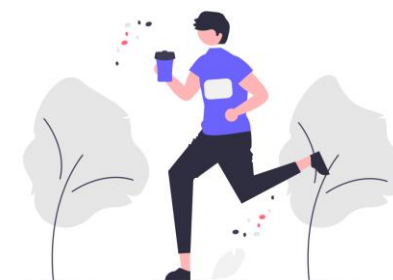


基本目標②

素案
P 7

文化を伝え育み誰もが笑顔でいきいき暮らすまち

- 一人ひとりに、社会の中での役割や生きがいがあり、誰もが自分らしい暮らしを送っています。
- 社会全体で包み込むように支えあう考え方が日常に溶け込み、つながりを感じるあたたかさあふれるまちになっています。
- 言語や慣習をはじめ、属性の異なる人々がお互いを尊重しあい、笑顔で自然に交流しています。
- 気軽にスポーツを楽しみ、健康づくりに取り組むことで、生涯にわたっていきいきとした生活を送っています。
- 多彩な文化や芸術、歴史や伝統が暮らしとともにあることで、心が潤い、豊かな感性が育まれています。
- 自由に学びを深められることで、質が高く心地よい暮らしを送ることができています。



基本目標③

素案
P 8

豊かな環境と産業の活力で持続的に発展するまち

- 自分の行動が未来の環境を大きく左右するという意識を持ち、環境に配慮した行動を実践しています。
- 次世代クリーンエネルギーや新技術の活用を含む脱炭素への積極的な行動により、カーボンニュートラルの実現に向けた歩みを着実に進めています。
- 資源を無駄なく利用する意識が浸透し、循環型社会が形成されています。
- 区内企業が社会環境の変化に柔軟に対応することにより、生産性の向上や産業集積の維持・発展につながっています。
- 誰もが新たにチャレンジできる環境で、業種の垣根を越えたより一体的な協力関係の形成により、新たな産業やサービスが生まれ出され、区内企業の「稼ぐ力」が向上しています。
- 磨き上げられた「大田区ブランド」が世界の人々を魅了し、多くの人を訪れることで、にぎわいや経済の活性化につながっています。

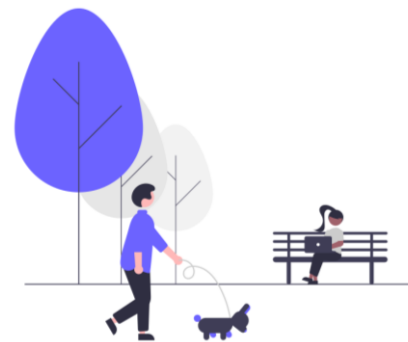


基本目標④

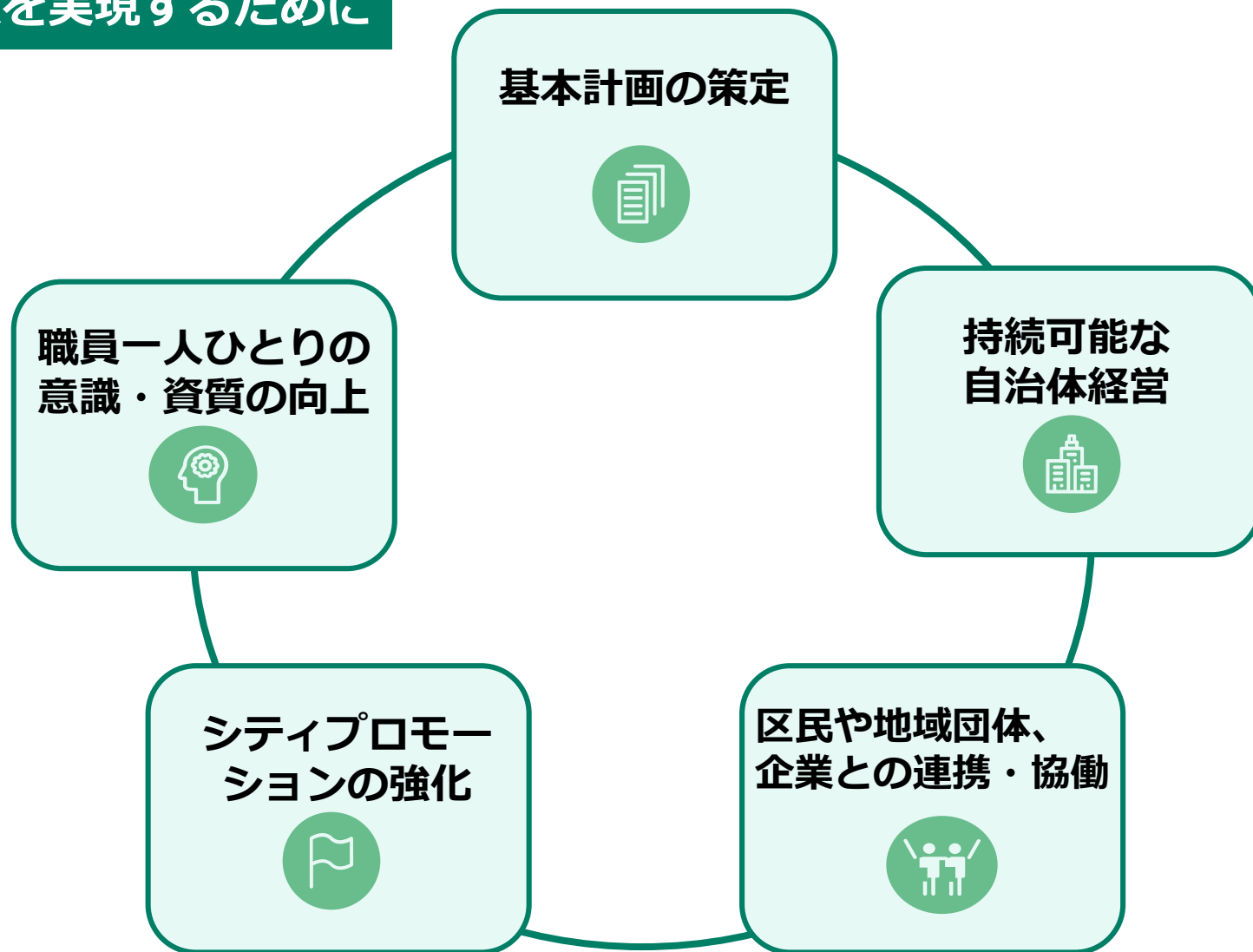
素案
P 9

安全・安心で活気とやすらぎのある快適なまち

- 強靱な都市基盤の整備と地域の連携の強化により、心から安心できるまちになっています。
- 利便性の高い交通ネットワークの整備により、誰もがどこへでも気軽に移動できるようになっています。
- 鉄道沿線から広がる活気あるまちづくりや、空港を持つ強みを活かしたまちづくりを通じてにぎわいと交流が生み出されています。
- 安心で快適な住環境の整備により、ずっと住み続けたいまちになっています。
- 地域の特性を活かした、多様な特色を持つ公園が充実しています。
- 身近な場所でふれあえる水やみどりがあり、やすらぎを感じるまちになっています。




基本構想を実現するために



5. 区民意見公募手続（パブリックコメント）の実施

5. 区民意見公募手続（パブリックコメント）の実施

目的	大田区基本構想（素案）の内容を区民の皆様にお知らせし、広くご意見をいただくため。
意見募集期間	令和5年12月26日（火）から令和6年1月15日（月）まで
意見を提出できる方	<ul style="list-style-type: none">・ 区内在住、在勤、在学の方・ その他大田区基本構想に関係を有する方
意見提出方法	<ul style="list-style-type: none">・ 電子申請・ 郵送・ FAX・ 大田区役所企画課へ持参 <p>※いずれの提出方法の場合も最終日必着</p> <p>詳細はこちらから</p> 
その他	<ul style="list-style-type: none">・ 口頭や電話では受け付けません。・ 意見や個人情報は、上記の目的以外では使用しません。・ 個別の回答はいたしません。（後日、区の考え方をHPで公表）